

真宗大谷派 草加松原開教所 浄心寺 寺報

もとみち

第 3 号

▼東日本大震災

三月十一日。草加では震度五強。次々に入ってくる惨状にテレビから目を離せず涙を流す毎日。お店からは物が無くなり水すら手に入らない。異常なほど繰返し流されるポポポポのCM。ついには原発の影響で乳幼児に水を飲ませるなどのニュース。この未曾有の大災害に影響を受けられない者、無関心でいられる者などありませんでした。



花壇に残った水仙 4.11 いわき市にて

当面とはいえ電気も物も手に入るようになり、テレビでは通常の企業CMが流され、ニュースで震災の傷跡の検証、批判をする一方で、お笑いなどのバラエティー番組が多く見られるようになる、非日常を強いられて、多くの悲しみの中に過ぎたことが何か夢のようで何も無かったのではないかと錯覚してしまっています。いてもたってもいられず傾聴や法要のボランティアでいくつかの被災地を訪ねました。震災百日後には、百力日法要で石巻市に入りましたが、がれきの撤去が進まず山積みのままの所も少なくなく、一部の大きな避難所を除いて自由にお風呂に入れないなど不自由な環境は依然として続いておりました。

荒野と化した港町では、テレビでは伝わらない腐った魚や動物の臭い。大きな銀バエが飛び交い衛生面も心配でした。

不自由が身に及ばなくなるに関心が薄くなりがちですが現地で見ると震災はまだまだ始まったばかり、真つ只中です。

これからも絶えず関心を持って思いを共有していく。大変なことですが大切なことだと思えます。



東本願寺にて被災者追悼法要厳修 3.18~

▼被災者支援のつどい

三月十九〜二十八日 東本願寺
東本願寺(京都)では予定していた親鸞聖人七百

五十回御遠忌の第1期法要を震災の救援活動に取り組むため中止し、代わりに「被災者支援のつどい」として法要が営まれました。大谷暢顯(ちょうけん)

門首は「尊い生命を奪われた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、ひとりひとりが被災地に思いをはせ、悲しみをともにすることを願う」と述べ、追悼と復興を願って勤行が営まれました。初日の法要では四千二百人のご門徒が全国から参集。一同唱和する正信偈と念仏

は大変荘厳なものでした。

今後の予定

●八月六日(土) 十四時〜

浄心寺「お盆法要」

「常に飢えたるもの」が餓鬼だと親鸞聖人は言われました。満足感がなく、欲心に追い回され、名利に動く心情は餓鬼そのもの。ご縁の深い連れ合いさまから遠いご先祖まで、諸仏としてお敬いすることは



本当に尊いことです。しかし、ご先祖を餓鬼として供養したり(施餓鬼)、あの世とこの世を行ったり来たりする亡霊のように思っていたたりを恐れて慰霊をしたり、あるいは、あの世から都合よく守ってもらおうと思つての、身勝手な供養であるならばその根性こそが、自分の欲心や名利心を満たそうとする餓鬼そのものでないでしょうか。だからこそ仏様の救いのお目当てはいつでもこの「わたし」なのです。

ぜひ、お盆のお参りにお寺にお越し下さい。

今回は「楽しくなければお寺じゃない」を合言葉に布教活動をしておられる楽しい先生にご法話をお願いしました。イス席でするのでお気軽に、ご近所さまお誘いでお越し下さい。なお駐車場の限りもありますので車でお越しの方はご一報下さい。

終了後にはお茶を飲みながら楽しく談笑しましょう。

共命鳥 ぐみょうちよう

共命鳥とは一身二頭で心も二つあり、しかもその一頭が死すれば他の一頭も死するという美声の鳥で、阿弥陀経に出てくる浄土の鳥です。

今回の震災の映像を見て、情報を得るたびに心を痛め、いてもたってもいられない気持ちに駆られた人も多いのではないかと思います。

それは我々が共なる命を生きているから。

しかしその一方で、

自分が、自分の家族が、自分の仲間が自分の職場が、自分の財産が、無事でホツとしたという声もたくさんありました。

自分が…。自分が…。

他の一頭が苦しんでいます、あなたは大丈夫ですか。



浄心寺

その他

● 8 / 6 (土) 2 時

「お盆法要」

詳細は次号以後にお知らせ

● 9 / 23 (祝)

「お彼岸のお参り」

● 12 / 11 (日)

「浄心寺報恩講」

浄土真宗では報恩講を一年で一番大切な行事としています。まだ当寺にお越し頂いていないかたはこの機会にお参り下さい。

トピックス

◇ 外壁塗装・看板新設

地震で本堂の鶴亀のろうそく立が倒れて親鸞聖人の掛軸が破損。内陣の壁と床に少々の被害。建物全体では数カ所の壁に亀裂が入りました。外壁の交換と併せて塗装工事を入れましたので先日まで足場を組んで困っておりまして。お越し頂きました方にはご不便をおかけしました。外した看板は再使用できず目下製作中です。

◇ 災害義援金

春彼岸でお預かりしましたお布施を日本赤十字・中央共同募金(赤い羽根)・ボランティアを支えるNPOらに全額寄付しました。

御寄進御礼

御供 参拝椅子三十脚
足立区 塩谷利昭様

お陰さまで椅子席でご法事が出来るようになりました。御寄進は、ご功績を記録して永く称えさせて頂きます。深く感謝し大切に使用させて頂きます。

編集後記

あの震災から数日たって、まだ惨劇の事実を受け止め切れないでいる頃でした。坊守の懐妊が分かりました。(坊守はお寺の奥さんのこと)

現在六カ月目に入り胎動も分かるようになりました。予定は十一月中旬。震災は千年に一度という大変なものでしたが、そのような年に

子を授かるというのも感慨深いものです。混沌の中で輝く希望そのもので、無事に生まれてくることを祈らずにはいられません。
先月、一般にお宮参りをするのになんで当寺本堂にて懐妊報告法要を勤めました。日に日に大きくなるお腹に驚愕しながらも、まだ見ぬ愛おしい我が子にエールを送る毎日を過ごしております。次回また報告します。(住職)



浄心寺

〒340-0011
埼玉県草加市栄町三九一三六
048(951)7367
http://jyosinji.web.fc2.com